

デング熱を発生させないために 蚊の発生源対策を



昨年、新宿中央公園等で蚊に刺され、感染した可能性の高いデング熱患者が確認されました。区では、蚊の対策として区道や公園の雨水まですの幼虫防除と公園の下草刈り等に取り組みます。皆さんのご自宅や職場でも、蚊の幼虫が発生し始める4月から発生源対策をして、蚊を

増やさないようにしましょう。

【問合せ】デング熱の症状等：保健予防課保健相談係(第2分庁舎分館1階) ☎(5273)3862、▼蚊の駆除等の方法：衛生課環境衛生第一係・第二係(第2分庁舎3階) ☎(5273)3841・3845へ。

デング熱とは

デング熱に感染した人の血を吸った蚊が、他の人の血を吸うことで感染が広がる病気です。人から人へは感染しません。

ウイルスに感染した蚊に刺された全ての人が発症するわけではありませんが、発熱・頭痛・関節痛・発疹等の症状が1週間程度続きます。

デングウイルスを媒介する蚊

ヒトスジシマカ(写真下・国立感染症研究所昆虫医学部提供)、国内ほとんどの地域で生息します。成虫は5月中旬、10月下旬の、主に朝方から夕方活動します。



蚊の発生源対策

◆水たまりができないように
ヒトスジシマカの幼虫は、植木鉢の受け皿、雨ざらしのバケ



蚊に刺されないために

◆蚊の多い場所へ行くときは、刺されないよう、長袖のシャツや長ズボンなどを着用し、肌を露出しない
◆必要に応じて、虫よけスプレーや蚊取り線香を正しく使用する
◆窓には網戸を設置し、玄関扉や窓の開け閉めは極力少なくして、屋内への蚊の侵入を防ぐ

区民医療公開講座

◆デング熱、エボラ出血熱を知ろう
デング熱をはじめ、エボラ出血熱が西アフリカで流行するなど、感染症が猛威を振るっています。この公開講座では、感染症の正しい知識を解説し、予防や対策を紹介いたします。

【日時】5月16日(土)午後2時～4時(午後1時30分開場)

【内容】デング熱などの蚊が媒介する感染症について(竹下望・国立国際医療研究センター病院国際感染症センター医師)、▼エボラ出血熱の現状と日本での対処法(大曲貴夫・同センター長)

【共催】新宿区医師会
【会場】申込み当日直接、区立教育センター(大久保3-1-2、新宿コスミックセンター内)へ。先着130名。

【問合せ】▼新宿区医師会 ☎(3208)2301、▼健康推進課健康企画係(第2分庁舎分館1階) ☎(5273)3024へ。

女性のための健康セミナー

①きちんと知っておきたい更年期のからだと心のこと
【日時】5月13日(水)午後6時30分～8時

【対象】区内在住・在勤・在学の方、40名(男性も参加できます。託児あり)

【内容】更年期のからだと心の不調と対処法(東館紀子・東京女子医科大学成人医学センター産婦人科医師)

②アロマルームスプレー製作
【日時】5月26日(火)午前10時～12時

【対象】区内在住・在勤・在学の女性、30名

【内容】アロマテラピーについての話とスプレー製作体験

【会場】四谷保健センター(三栄町25)

【申込み】電話で女性の健康支援センター(四谷保健センター) ☎(3351)5161へ。先着順。

※②の体験型セミナーは、今年度初めて参加する方を優先します。

●乳がん体験者の会「るびなす」にご参加を
乳がんにかかっても自分らしく生活するために学んだり、互いの体験や療養について情報交換したり、気持ちをお互いに分かち合うための会です。これから治療する方、治療を終えた方も参加できます。参加を希望する方は、電話で女性の健康支援センターへお申し込みください(次回は、5月12日(火)午後2時～4時)。

75歳以上の方は5月から開始

健康診査・がん検診

がんや生活習慣病(脳卒中・心筋梗塞・糖尿病等)は、早期に発見し、早期の治療につなげることが大切です。健康診査・がん検診は、定期的に通院している方も受けられます。年に一度の検査で、ご自分の健康状態をチェックしましょう。

75歳以上の方(昭和16年3月31日以前に生まれた方)は、5月から受診できます。受診できる健(検)診の種類・費用は下表のとおりです。

【問合せ】健康推進課健康係(第2分庁舎分館1階) ☎(5273)4207・☎(5273)3930へ。

健康診査

問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査等で、健康状態をチェックします。

がん検診

医療機関によって実施している検診の種類が異なります。

受診できる場所

区の委託医療機関(区内の診療所など)

受診方法

受診には、「健康診査票」(がん検診票)が必要です。区から健(検)診票が届いたら、同封の「健康診査・がん検診のご案内」(医療機関の一覧も掲載)をご覧ください。医療機関に直接予約してください。

健(検)診票の発送

24年4月以降に健康診査・がん検診を受診した方には、4月下旬

に健(検)診票等を発送します。健(検)診票がお手元に届かない方は、5月1日(金)から健康推進課健康係または保健センターで健(検)診票送付の申し込みを受け付けます。

16歳～74歳の方は6月から健(検)診を開始

16歳～74歳の方の健康診査・がん検診は6月から開始します。詳しくは、「広報しんじゅく」5月25日号でお知らせする予定です。

◆健康診査は6月から開始します。詳しくは、「広報しんじゅく」5月25日号でお知らせする予定です。

◆40歳～74歳で新宿区の国民健康保険以外の健康保険(健康保険組合・共済組合・協会けんぽ等)に加入している方と被扶養者の健康診査は、各医療保険者が実施します。詳しくは、加入している医療保険者へお問い合わせください。

健(検)診の種類	費用 ※1
健康診査	無料
前立腺がん	200円
胃がん	1,900円 大腸がん検診と同時に受ける方は2,400円
大腸がん	600円 胃がん検診と同時に受ける方は2,400円
肺がん	X線のみは900円 X線と喀痰細胞診は1,200円
子宮がん ※2	頸部のみは900円 頸部と体部は2,000円
乳がん ※2	800円
肝炎ウイルス検診 ※3	無料

※1 生活保護を受けている世帯と特別区民税非課税世帯の方には、免除制度があります。
※2 28年3月30日現在、偶数年齢の女性が対象です。26年度に検診を受けていない方は奇数年齢でも受診できます。
※3 過去に肝炎ウイルス検診を受診していない方が対象です。

保健

お子さんの歯と口の健康チェックとフッ化物塗布

年2回、無料で健康チェック(歯科健診)とフッ化物の歯面塗布が受けられます。対象のお子さんには、4月末に区から受診票を発送します。同封の「お知らせ」に掲載の歯科医療機関に事前にお問い合わせの上、受診してください。受診票が届かない方は、健康推進課健康係にご連絡ください。

【受診期間】5月1日(金)～28年3月31日(木)に2回

【対象】区内在住で平成21年4月2日～25年4月1日生まれの子ども

【問合せ】健康推進課健康事業係(第2分庁舎分館1階) ☎(5273)3047へ。

親子ぜん息デイキャンプ

●今年度から日帰りのデイキャンプに変更します
医師からぜん息の知識を学び、バスハイクなどを通して、ぜん息をコントロールできるよう目指します。

【日時・内容】①8月29日(土)午前10時～午後2時：医師によるぜん息講座とレクリエーション、②10月24日(土)午前7時15分～午後6時：バスハイク、③12月5日(土)午前10時～午後2時：①と同じ内容、全3回

【会場】①③は四谷保健センター(三栄町25)、②は埼玉県立名栗げんきプラザ(飯能市)

【対象】区内在住で、気管支ぜん息の小・中学生と保護者、30組

【申込み】電話で6月12日(金)までに健康推進課公害保健係(第2分庁舎分館1階) ☎(5273)3048へ。申込書をお送りします。応募者多数の場合は抽選(①③は託児あり。先着順)。

精神保健講演会「うつ病を身近に考えよう」

●病気の正しい理解と周囲の対応

【日時】5月28日(木)午後2時～4時

【会場】区役所第2分庁舎分館1階会議室(新宿5-18-21)

【対象】区内在住・在勤の方、50名

【講師】春日武彦(成仁病院医師)

【申込み】電話で保健予防課保健相談係(第2分庁舎分館1階) ☎(5273)3862へ。先着順。